

キトラ古墳の整備活用について

古墳壁画PT保存整備班

1. 整備報告書等

- ・『特別史跡キトラ古墳環境整備事業報告書』の刊行
- ・パンフレット「特別史跡 キトラ古墳 整備の概要」の多言語版作成、印刷
形態：A4 3つ折（昨年度に日・英・中（簡・繁）について作成済）
内容：整備概説／墳丘周辺のMAP／墳丘の整備断面図／活用施設の紹介
言語・部数：韓・伊・西・仏語、各1,000部

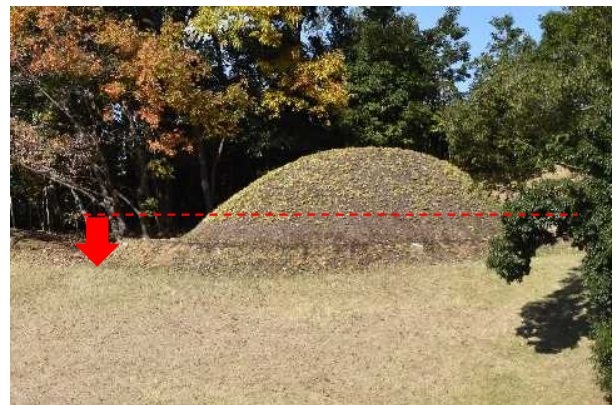
2. 整備後墳丘の維持管理

- ・墳丘法面植栽の現況調査と対策

墳丘の保護のため植栽したコクマザサの生育状況が芳しくないため、平成30年7月10日に京都大学・柴田昌三氏現地指導を受け、補植の方法について検討した。



竣工直後（平成27年10月）

平成29年11月
（破線下が特に生育が悪い箇所）

施工後（平成31年3月）

3. 墳丘現地の活用

・キトラ古墳遺跡見学・乾拓体験会

昨年度に引き続き、奈文研・国営飛鳥歴史公園（国営飛鳥歴史公園事務所＋公園財団飛鳥管理センター）共催で実施した。平成30年度は、キトラ古墳壁画公開期間中の平日に、年間4回（1回につき、午前・午後2ターン）、事前予約・当日参加受付を合わせて1ターンごと定員15名で実施した。所要時間90分。

【平成30年度実施実績】	5月22日（火）晴天	午前：7名	午後：9名
	8月3日（金）晴天	午前：4名	午後：6名
	10月9日（火）晴天	午前：8名	午後：7名
	2月1日（金）晴天	午前：3名	午後：7名



事前レクチャー



乾拓体験



乾拓の仕上げ